



国際交流のひろば

第232号 2022年4月

令和4年度留学生オリエンテーション

4月27日（水）12時から人104において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」「研究不正について」など佐藤留学生支援専門部会長及び担当職員から説明がありました。

新入留学生のみなさんは熱心に耳を傾けていました。



よろしくお願ひします!

4月に入学した留学生は中国9名、台湾2名、韓国、インド、カザフスタンの各1名、計14名です（未渡日の者含む）。

これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると33名となりました。

サマルさんに自己紹介をお願いしました。

教員研修留学生 カリペノヴァ・サマル（カザフスタン）

みなさん、こんにちは。昨年11月に文部科学省のプログラムで来日しました。母国では英語と図書館の教師をしています。日本の教育制度は世界でもトップクラスなので、ここで勉強し、何が優れているのかを見るのが私の夢でした。学校現場で方法論やカリキュラムの知識を深めることを楽しみにしています。また日本発祥で広く普及している授業研究について学ぶことも楽しみです。日本の教師や教育が優れているのはなぜなのか、授業研究あるいは他の複数の要因なのか、自分自身で証明できるかもしれません。ここで貴重な知識と国際経験を得たいと思います。

日本に来てから、私は食べ物がとても好きになりました。日本食は世界で一番おいしいと思います。日本に滞在している間、もっと日本のことを見てみたいです。例えば、沖縄の島々、美しいビーチや風景です。私が英語を教え始めた頃、教科書に沖縄本島についての記事がありました。その記事は「The Mystery of Okinawa」と呼ばれ、沖縄の人々が健康で幸せに長生きする秘訣について書かれていました。それを読んでから、私はこの素晴らしい場所を自分の目で見てみたいと思うようになりました。さらに、広島や福岡などにも行ってみたいです。そしてもちろん、新しい友達を作って、今よりずっと上手に日本語を話したいです。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）



国際交流のひろば

高田ロータリークラブから支援品の贈呈

高田ロータリークラブ様より、コロナ禍で影響を受けている留学生へ総額10万円相当の食料品、衛生用品などの生活支援品を贈呈していただきました。

5月26日(木) 本学において、支援品贈呈式が行われ、同クラブ会長の中田様より留学生へ目録が渡されました。



学長と4月入学留学生との懇談会

6月22日(水) 15時30分から中会議室において、学長と4月に入学した留学生との懇談会を実施し、佐藤留学生支援専門部会長、松尾副部会長及び留学生13名が出席しました。

最初に学長から歓迎と励ましの言葉があり、続いて留学生が自己紹介をしました。日本や上越の印象、生活、勉強に関する話題で和やかに懇談しました。

上越国際交流協会との連携連絡会

6月23日(木) 10時30分から本学において、上越国際交流協会との連携連絡会を開催し、事業実施状況や連携事業等について意見交換を行いました。この連携連絡会は、これまで培ってきた連携・協力の実績を基盤に、より一層の連携協力を図るため2010年に設置されたものです。

上越国際交流協会からは清水理事長、河西副理事長、佐藤事務局長の3名、本学からは学長、中山理事、押木国際交流推進センター長、周東協定校交流推進専門部会長、佐藤留学生支援専門部会長、藤谷准教授が出席しました。

留学生等の交通安全教室

6月29日(水) 14時から人113において、交通安全教室を実施しました。松尾留学生支援専門副部会長から、海外で交通環境の違いに驚いた経験などのお話をいただき、自転車の交通ルールや道路での乗り方などについて映像を視聴しながら学びました。

10月は警察署員をお招きし、秋の教室を実施します。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

外国人研究者 グンナー・ブルンス先生の紹介

2022年6月27日（月）～11月30日（水）までの5か月間、外国人研究者としてグンナー・ブルンス氏が本学で研究に従事されています。ドイツのヴッパータール大学教育学部に勤務されており、本学では「知的障害者の記憶メカニズムの解明」をテーマに研究に取り組まれています。受入担当教員は池田吉史准教授です。

7月1日（金）林学長と中山理事に挨拶を行いました。グンナー氏と学長は、日本の夏の話や池田准教授と知り合ったきっかけなどについて懇談しました。



私費外国人留学生各種奨学金説明会



7月13日（水）12時から人114において、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金説明会を実施しました。

学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする留学生に対し修学を援助することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「J E E S 留学生奨学金」等の来年度に向けた募集や詳細について、近藤留学生支援専門部会委員から説明しました。



茶道クラブ主催のお茶会に参加しました



7月14日(木) 19時から大学会館第2集会室において、本学茶道クラブが主催するお茶会に留学生9名が参加しました。

参加した魏之絢さん(中国)は「日本で茶道体験は初めてです。部員から茶道の礼儀や作法を習い、美味しいお茶をいただきました。印象深いのは部員の親切さと掛け軸に書かれた“一期一会”と梅雨に応じた紫陽花の飾りです。日本の伝統的なおもてなし文化や茶室のしつらいの美しさを感じました。」と感想を話しました。

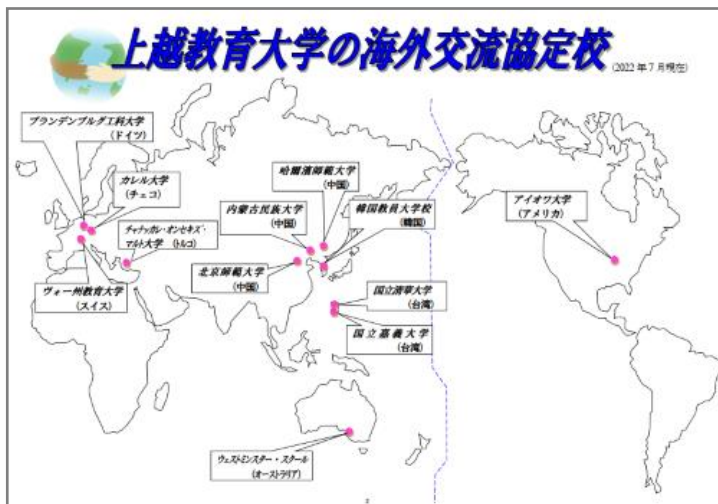


令和4年度 留学説明会

7月26日(火) 12時10分から人114において、日本人学生を対象に本学と協定を締結している海外の大学の情報提供や留学支援制度を紹介することを目的とした留学説明会を開催しました。

周東協定校交流推進専門部長からの協定校の紹介、海外生活経験者の田中はなさん(学部3年)から体験発表がありました。

また、「2023年度海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などの奨学金制度についても説明がありました。



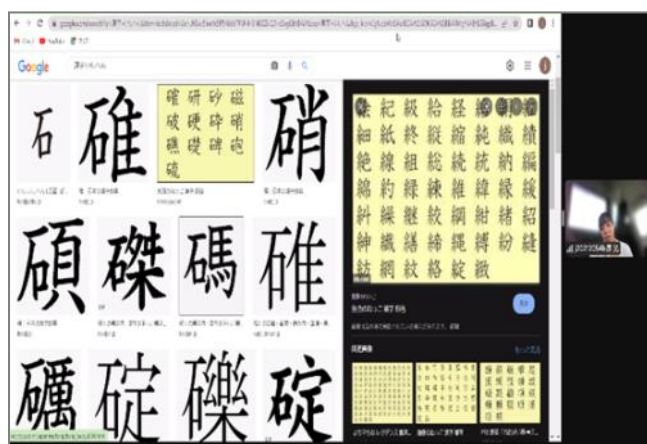
外国につながる子どもたちへの修学支援事業 夏休みの宿題教室



7月25日(月)～27日(水)夏休みの宿題教室を実施しました。令和4年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるもので、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。

外国人留学生及び日本人学生16名が支援者として参加し、児童生徒19名が夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心にサポートしました。

今回は、Web会議システムを利用したオンラインでの支援を行いました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

短期外国人留学生成果発表会

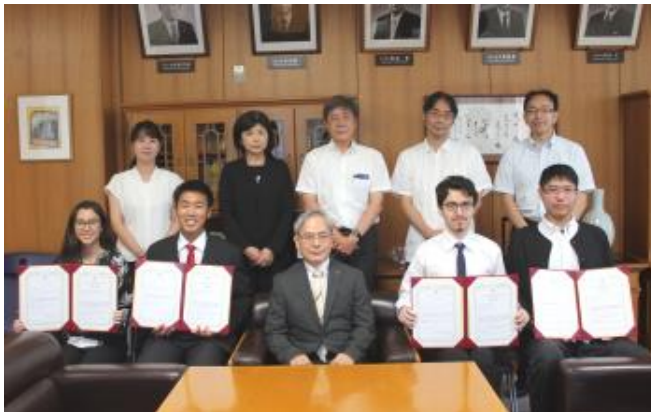
8月29日(月)10時から人113教室において、令和3年10月～令和4年9月の期間に本学で学んだ短期外国人留学生の成果発表会を開催しました。

それぞれ日本各地を訪れた思い出や友人との交流などの日本での留学生活と各自のテーマで取り組んだ学習成果を発表しました。

バーリ・ヒュセイン・メルトさん(トルコ)は「何度も特別なゼミを行ってくださった堀先生に感謝します。素晴らしい人たちに出会えて私は本当に運が良かったと思います。」と感想を話していました。



短期外国人留学生修了証書授与式



9月5日(月)15時30分から学長室において、令和4年度短期外国人留学生修了証書授与式を執り行いました。

本学で特別研究学生として在籍した台湾協定校(国立嘉義大学)からの1名、特別聴講学生としてトルコ協定校(チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学)からの1名及び日本語・日本文化研修留学生(ブラジル2名)の計4名に修了証書が授与されました。オクムラさんに感想文を寄せてもらいました

日本語・日本文化研修留学生 オクムラ・オカバヤシ・チアゴ・ケンジ(ブラジル)

振り返ると、留学での時間は瞬く間に過ぎて行きました。その中でかけがえのない多くの友人を得ることができました。これらの友人と一緒に、さまざまな場所に旅行し、困難な課題を克服し、たくさん笑いました。でも、最も重要なことは、私たちは心に刻まれた思い出を作ることができたことです。

上越教育大学で過ごした時間は自分自身の人生にとって欠くことのできない1ページであったということに、疑いの余地はありません。こんなにたくさんの素晴らしい人たちと、大好きな国に別れを告げることに胸が痛みますが、これは「さよなら」ではなく、「またね」だと分かっています。

最後になりますが、未熟な私にいつも適切な助言を与えて下さった諸先生方、また様々な場で私を支えて下さった職員の皆様、心から感謝申し上げます。そして、上越教育大学の一層の発展を願い、答辞とさせていただきます。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば



留学生等の交通安全教室

10月26日(水)15時から大会議室において、交通安全教室を実施し、留学生、チューター、教職員など20名が参加しました。上越警察署の交通課と警備課の方々から主に自転車を中心とした日本の交通ルールと防犯や身近な犯罪についてお話をいただき、お酒に酔った時の視界を体験できるゴーグルや反射神経を測定するなどの体験をしました。

最後に留学生代表として任立力さん(中国)は「本日はお忙しい中、上越教育大学に来ていただきありがとうございました。留学生にとって、日本の交通ルールを知らないこともたくさんありましたが、今日のお話で日本の安全の知識を学びました。よく気をつけながら、事故に遭わないように生活していきたいと思います。」とお礼の言葉を述べました。



よろしくお願ひします!

10月に入学した留学生は、中国、台湾、トルコの各1名です。これにより、本学で学ぶ留学生は6つの国と地域から31名が在籍しています。(博士課程を含む)

メルテムさんに自己紹介をお願いしました。



日本語・日本文化研修留学生 エメッキ・メルテム(トルコ)

はじめまして。トルコのチャナッカレ・オンセキズ・マルト大学で日本語を勉強しています。今はトルコでは3年生です。日本料理に興味があるので、1年のうちに日本の名物料理や家庭料理、デザートやお菓子などを色々食べてみたいです。お勧めのレストランがあれば教えてください!そして、もし機会があれば、日本の多くの場所にも行ってみたいと思いますが、上越市にはまだ来たばかりですので、まず高田公園など上越市の名所・歴史を訪ねたいと思います。日本は多くの点でトルコと異なるため、毎日新しいことを体験するのがとても楽しいです。文化の違いは難しいこともありますが、違う環境で生活し、違う文化の友達を作ることは、かけがえのない経験だと思います。日本でたくさんの友達を作り、良い思い出を作ることを楽しみにしています!

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



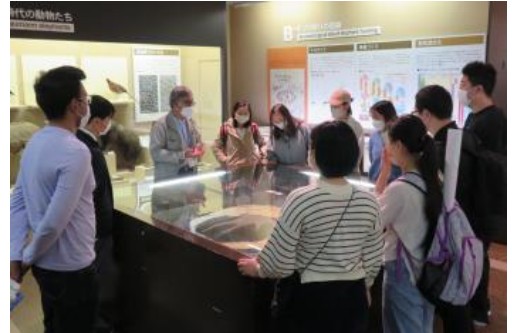
国際交流のひろば

留学生の日本文化・歴史体験に関する研修

11月2日(水)午後、野尻湖ナウマンゾウ博物館、苗名の滝、黒姫童話館を見学しました。この研修は留学生に日本文化・歴史体験や交流の機会を提供することを目的に行っています。王暉さんから感想文を寄せてもらいました。

大学院1年 王暉(中国)

まず、長野県信濃町の野尻湖畔にある野尻湖ナウマンゾウ博物館へ行きました。ここでナウマンゾウの骨を見て歯に触りました。石器作りも体験しました。次は苗名の滝へ行きました。私は8月と今回、2回行きました。今回は山が緑、赤、黄色などの色で、葉が赤くなって、きれいな風景だと思いました。同じ所でも四季の様子で景色は違いました。最後に黒姫童話館へ行きました。童話館周辺の森や草原を「童話の森」と名づけられていて、ここで皆で写真を撮りました。文学と芸術と自然を一体的に楽しめる空間づくりです。世界や信州の民話・童話・児童文学などを少し理解しました。もう一回行きたいです。



修了生からの手紙

令和4年3月に博士課程(連合大学院)を修了し、現在、中国の贛南師範大学で教師としてご活躍されている王佳穎さんからお手紙が届きました。

令和3年度博士課程(連合大学院)修了生 王佳穎(中国)

皆さま、ご無沙汰しております。お元気ですか。2015年から2022年までの7年間にわたり、上越教育大学大学院で学ばせていただきました。現在は中国江西省の師範大学に勤めています。振り返ってみると、上越で初めて雪国の生活を体験しました。それだけではなく、地域社会の一員として受け入れられ、さまざまな地域活動に参加できることに温かさや喜びを感じております。そして、大学院では納得のいくまで試行錯誤を行い、何度もチャレンジすることができる時間と場が十分に保障されており、とてもありがたく思っています。恵まれた環境の中で、研究課題を練り上げることができる喜びと研究することの楽しさや奥深さを実感した7年間でした。

修了後、改めて、上越教育大学で過ごした日々が自分にとって、どれほど貴重で豊かな時間であったかをかみしめています。この7年間、ご指導・ご支援くださった上越教育大学の諸先生方、職員方及び、地域の方々に厚くお礼申し上げます。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

第238号 2022年12月

留学生が語る／留学生と語る会

12月7日(水)16:30からOpen MUJI(無印良品直江津)において開催し、市民、学生、教職員など36名が参加しました。

今回は『新型コロナで変化した学生生活についてふりかえろう!』というテーマで、吉田留学生支援専門部会委員の進行のもと、留学生5名(チリ、インド、カザフスタン、韓国、中国)が自国の様子を語り、上越国際交流協会の佐藤事務局長から上越市の国際交流についてお話をいただきました。

意見交換では「アフターコロナでしたいことは何ですか」という質問に対し、留学生は「マスクのない生活をしたい」「一時帰国したい」「マスクをとって、ちゃんとメイクをしたい」など答えていました。

参加者からは「外国の人たちから聞く生の声は参考になる」「国によって違うと思っていたが、共通点が多かった」「人生をポジティブに過ごそうとしていることが分かった」などの感想が寄せられました。



J.TESTの受験と講評



11月5日(土)本学において、留学生がJ. TEST 実用日本語検定(A-Cレベル)を受験しました。

留学生が受験したものは中級から上級向けのものです。本学では留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の日本語支援に役立てることを目的に毎年実施しています。難易度は毎回一定のため、毎年受験することにより日本語力の進歩が分かります。

12月9日(金)人104において、田島留学生支援専門部会委員より試験の成績通知と講評を行いました。



世界を語ろう!

11月30日(水)から留学生交流プラザにおいて「世界を語ろう!」を実施し、留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉などについて交流しました。

11/30カリペノヴァ・サマルさん(カザフスタン)、12/5趙静さん(中国)、12/14モハンティ・ディビヤさん(インド)が語り手となり、自国の紹介をし、各国の早口言葉を紹介しあうなど、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。



外国人研究者 高鵬飛先生の紹介



12月22日(木)学長室において、外国人研究者の高鵬飛(ガオ・ポンフェ)先生が林学長に挨拶を行いました。過去に上越教育大学を訪問した経験や、コロナウイルスの影響で入国できなかった経緯などについて、林学長と懇談しました。

高先生は、重慶外語外事学院の所属で、12月9日(金)に来日しました。小笠教授が受け入れ教員で、上越に1年間滞在する予定です。

専門は日本文学で、日本では小川未明の文学などを研究します。

外国につながる子どもたちへの修学支援事業 冬休みの宿題教室

12月26日(月)27日(火)冬休みの宿題教室を実施しました。

令和4年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるもので、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。

外国人留学生及び日本人学生14名が支援者として参加し、児童生徒17名が冬休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心にWeb会議システムを利用したオンラインでの支援を行いました。兄弟がいる児童でのグループ支援も行い、本学の留学生と日本人学生は、臨機応変に対応しました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば



外国人留学生対象就職ガイダンス

1月18日（水）12時～13時、人104教室において、東京外国人雇用サービスセンターから講師をお招きして、留学生を対象にしたオンラインでの就職ガイダンスを行いました。

ガイダンスでは、卒業後に日本で働くための在留資格、日本における就職活動の仕方（キャリアセンター、ハローワーク、就職情報サイト等の利用方法）、東京外国人雇用サービスセンターの就職支援の内容、ハローワークの利用方法及びカード登録の仕方、外国人留学生求人票の注意点と書類作成などについて学びました。参加した留学生は「知らないことが沢山あって勉強になった」と感想を話していました。



外国人留学生との意見交換会



2月1日（水）16時30分から講201教室において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員が出席しました。

押木国際交流推進センター長の挨拶の後、小グループごとに意見交換を行いました。

修学、生活、大学と地域との連携を主に、留学生から日頃の悩みや考えていることの意見・要望が出されました。特に多かったのは、食事面と雪が降った時の買い物の大変さや交通の不便さでした。

グループごとにアドバイスや解決方法などが話し合われました。

これまで、この会で得た意見から、改善したり、解決したことが多くありましたが、今後もこの会で得た意見は、留学生支援につなげていきます。



修了留学生成果発表会

2月14日（火）15時から人113教室において、修了留学生成果発表会を開催しました。

発表者は、教員研修留学生のモハンティ・ディビヤさん（インド）、ディアス・カミラさん（チリ）、カリペノヴァ・サマルさん（カザフスタン）と大学院2年の白雲さん（中国）の4名です。

それぞれ、本学での学習と研究成果及び留学生生活の思い出などについて発表しました。



留学生スキーのつどい

2月21日（火）～22日（水）上越市安塚区のキューピットバレイスキー場において、留学生スキーのつどいを実施しました。スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生がスキーを体験するとともに、スキー実習を通して、参加者相互の親睦を図ることを目的として実施しています。

初めてスキーを体験した任立力さん（中国）から感想文を寄せてもらいました。

大学院1年 任立力（中国）

大学のおかげで、スキーのつどいを開催していただき、ありがとうございました。一泊二日で、先生方の丁寧な指導のもと、スキーを習ったり、雪像を作ったり、おいしい料理もいただきました。スキー場に入ってワクワクしながら、最初にインストラクターと体操をして、基本的な動スキーの動作を練習しました。そしてリフトに乗り込んでから、こんな高い坂道があるのかと心配になりました。最終的には、インストラクターの指導のもと、全員が困難を乗り越え、チャレンジを成功させることができました。最後はみんなと一緒に雪像を彫刻して、難しかったがみんなの力を合わせてよく作ることができました。このスキーのつどいは、留学生の生活を豊かにするだけでなく、上越や日本への了解も深めたと思います。みんなすごく嬉しかったです。来年のスキーのつどいも期待しています。



買い物バス ーありがとうございます!ー

留学生の意見から、冬は買い物に行くのがとても不便であるということを受けて、大学のバスを利用して買い物に行く機会を設けました。

今年度は夏に2回と冬に2回、買い物のためのバスを出し、直江津ショッピングセンターとイオンに行ってきました。

歩いたり自転車では大変な重い物や食料品のまとめ買いなど、両手いっぱい買い物袋を持って、留学生はこの機会を活用していました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）



国際交流のひろば

令和4年度上越教育大学国際交流のつどい

3月8日(水) 17時から開催しました。この会は、日頃、ご支援いただいている地域の方々と意見交換を行い、本学の国際交流の推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

上越市、新潟県及び上越国際交流協会、看護大、ロータリークラブ、本学振興協力会員、各国から修了留学生、本学関係者等、約60名が参加しました。

田島留学生支援専門部会委員の進行のもと、林学長の挨拶、押木国際交流推進センター長から本学の国際交流の現状の説明、留学生の体験発表等の後、グループに分かれた懇談会で意見交換をしました。

今年度は初めてZoomミーティングを利用したことにより、国内遠方や外国からも多くご参加いただき、広く交流を深める有意義な時間になりました。



教員研修留学生修了証書授与式



3月13日(月) 15時から大会議室において、中山理事から1年間本学で学んだ教員研修留学生3名(インド、カザフスタン、チリ)に修了証書が授与されました。

モハンティ・ディビヤさん(インド)は「今日は私にとって嬉しい日でもあり悲しい日でもあります。ここで多くの素晴らしい人々と一緒に活躍する機会を得ました。日本で学んだ新しいことをインドで実践できるように頑張ります。」とお礼の言葉を述べました。

修了留学生への記念品贈呈式



3月13日(月) 15時30分から大会議室において、3月に大学院を修了する留学生5名に、中山理事から記念品が贈呈されました。

修了生代表として孟瑞軒さん(中国)が「ここで学んだそれぞれの専門分野を生かし解決すべき問題に対処していくことで、世の中をより良くするために今後も一層努力します。いつも親身にご指導くださった先生方、ご支援くださった職員の皆様、困難を共に乗り越えた友人、支えてくれた家族に改めて深く感謝いたします」とお礼の言葉を述べました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)